

就任挨拶

副会長
吉田 守



ただいまご紹介いただきましたパナソニックの吉田でございます。このたびは日本知的財産協会の副会長という大役を仰せつかることになりました。全くの未熟者でございます。皆さんにご迷惑をおかけすることも多いのではないかと考えておりますけれども、全力で取り組んでまいりたいと思っておりますので、何とぞ、ご支援、ご指導のほどよろしくお願ひしたいと思っております。

さて、少し自己紹介を含めて、私と知財の関係についてお話をしたいと思います。入社以来、三十数年間が経過しておりますけれども、最初に担当した事業がビデオ事業でございます。ビデオの事業と申しますと、かなりの会社とクロスライセンスがございまして、知財に対して全く悩む必要がなかったというか、特段の知見の必要も無い、そういうような事業を、技術者として担当してまいりました。

そういう中で、私、AV関係の事業をこの3月まで担当しておりましたけれども、2003年からデジタルカメラの事業を担当することになりまして、環境が一気に変わってしまいました。デジタルカメラにつきましては、パナソニックは、最後発で参入したということもございまして、一気に知財に対する重要性というものを改めて思い知らされました。それから、いろいろな事業を担当し、商品開発、技術開発において、常に知財というものを意識しながら取り組んできたということでございまして、この10年間、改めて、この知財の重要性というものを認識させられたというような経験がございまして、

昨今、世界経済も先進国から新興国へ経済成長が移ってきております中で、ますますこの新興国を含めた知財戦略というのが重要になってくるのではないかと改めて感じております。先ほど間塚会長からお話ございましたように、世界経済、また、世界の技術の進化も非常に速いスピードで変化をしてきておりますので、このような変化に対応して、しっかりと知財戦略を練って取り組んでいくことが、日本にとって非常に重要ではないかと改めて感じております。

この知財協会の大きな考え方の中に“Creating IP Vision for the World”という言葉がございまして。このビジョンをしっかりと実践できるように私自身もしっかり取り組んでまいりたいと考えております。

間塚会長の足を引っ張ることのないように、皆さんからご支援をいただきながら取り組んでまいりたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願ひを申し上げます。

甚だ簡単でございますが、副会長就任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。